



こんにちは、岡田よしひでです

2021年10月17日 発行
県議会活動報告ニュース
NO.102 号外

自宅 南国市浜改田 430-1
TEL/FAX 865-2932
携帯 090-4337-4527

岡田よしひで事務所 864-2426 南国市駅前町 2-5-11 県議会共産党控室 823-9524 高知市丸ノ内 1-2-20

県議会9月定例会で6日、米価暴落の問題、地球温暖化防止、南国市の中心市街地活性化について質問しました。

南国市中心市街地のまちづくり

岡田議員 最後に、私の地元であります南国市の中心市街地活性化についてお聞きをいたします。今年3月21日に、「南国市ものづくりサポートセンター」として、「海洋堂 spacefactory なんこく」がオープンいたしました。現在は、その周辺と市街地の道路整備が進んでおり、地域の活性化と産業振興が図られることが期待されております。同時に、今は、カーボンニュートラルや地球温暖化防止に取り組むことが求められており、SDGs（持続可能な開発目標）の推進などにも留意したまちづくりが重要になっていると考えます。

その上で、南国市の都市再整備に係る中心市街地のまちづくりについて、県はどう考えているのか、土木部長にお聞きをいたします。

土木部長 南国市がすすめる中心市街地のまちづくりは、JR後免駅前広場、後免町商店街、ものづくりサポートセンター、そして、新設される予定の図書館を中心部に集約し、これら



ぶ回遊ルートとを合わせて整備しようというものであります。また、南国市はこの回遊ルート

につままして、住民合意のもと、オープンスペースの緑化や、植樹、石畳の道といった居心地がよく、歩きたくなる空間の検討を行っています。居住や都市機能の集約による歩いて暮らせるまちづくりの推進は、CO2排出の低減をはかるものであり、都市緑化の推進は、CO2の吸収量増加につながるものであります。いずれもカーボンニュートラルの趣旨にそうものであり、SDGsの目標のひとつである住み続けられるまちづくりにも寄与するものと考えております。

岡田議員 地域の活性化を図るには、地域住民のみなさんの力をお借りすることが不可欠です。先日、後免町電停付近の交差点部の排水対策について、商店街の方からご相談を受け、中央東土木事務所に対応を求め、相談内容については早急に対応していただけるということで、解決の見通しが立ちました。

また、この交差点は、路面電車が走り、交通量も多く、複雑な形態であることから、交通の難所となっていました。現在、家屋等の用地買収が進み、工事が進められています。

この交差点の改良工事についての見直しを、土木部長にお聞きいたします。

土木部長 後免町電停付近の交差点の改良につきましては、平成27年度から、着手をしております。用地買収等をすすめて、令和元年に交差点の東側の道路拡幅工事に着手いたしました。

今年度、とさでん交通と電停移設等の協議を行いまして、来年度、電停の移設や軌道工事、そして南国市の下水道工事を行う予定でございます。

その後、横断歩道や信号機の設置等の工事を

行いまして、令和5年度の完成を目指しております。

なお、交差点の排水対策につきましては、新設した水路と既設の水路の接合部で十分な排水ができない状態となっておりますので、年内までに改善工事を行う予定としております。

岡田議員 中心市街地活性化を図るためには、商店街等との取組も不可欠です。県はどのように取り組んでおられるのか。

商工労働部長 南国市では、商工会を中心に商店街の事業者の皆さんや関係団体のほか、市と県も参画しまして、令和元年11月に南国市中心市街地振興協議会、こちらを立ち上げて、令和2年9月に、南国市中心市街地振興計画を策定しております。

この計画では、県内外から訪れるお客さんを商店街に取り込みまして、賑わいを創出するものづくり作家によるイベントとか、飲食店のスタンプラリーなどの取り組みが計画されております。

現状では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、実施できていないイベントもございますが、今後の取り組みがしっかりと実行され、効果を上げることができまますよう引き続き、市とも連携して支援を行ってまいります。

岡田議員 地域の課題解決も図られて、住みやすく、魅力あるまちづくりとなるように、引き続き県として南国市と連携して力を発揮していただくようお願いいたします。